

※※ **乳酸カルシウム水和物**
乳酸カルシウム「ケンエー」

貯法：気密容器・室温保存
使用期限：容器等に表示
注意：「取扱い上の注意」の項参照

承認番号	(61AM)2167
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1986年12月

※※ **日局 乳酸カルシウム水和物**

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1)高カルシウム血症の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (2)腎結石のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (3)重篤な腎不全のある患者〔腎不全がさらに悪化するおそれがある。〕

※※【組成・性状】

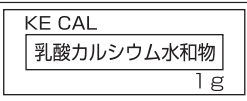
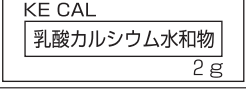
※※〈組成〉

1g中 日局乳酸カルシウム水和物 1g含有。

〈性状〉

白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。

分包品

	外形	識別コード
1g×3連包		KE CAL
2g×3連包		

【効能・効果】

低カルシウム血症に起因する下記症候の改善

テタニー

下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給

妊婦・産婦の骨軟化症

発育期におけるカルシウム補給

※※【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2～5回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

※【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい。〕
- (2)強心配糖体の投与を受けている患者〔強心配糖体の作用を増強するおそれがある。〕
- (3)高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

※3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質(テトラサイクリン、ミノサイクリン等)ニューキノロン系抗菌剤(シプロフロキサシン、トスフロキサシン等)	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	カルシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
その他	便秘

※5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

※※【取扱い上の注意】

※※〈安定性試験〉¹⁾

最終包装製品を用いた長期保存試験(室温、4年間)の結果、通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。

【包装】

500g

細粒状

500g、

1g×1,050、1g×2,750、

2g×1,750

※※【主要文献】

※※1) 健栄製薬株式会社 社内資料：乳酸カルシウム水和物の経時安定性について

※※【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号

電話番号 (06) 6231-5626

FAX番号 (06) 6204-0750